

平成 28 年度

# 社会教育部の運営方針

## <部の構成>

社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

## <担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 留守家庭児童会室に関すること。
- (4) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (6) 社会体育及びスポーツレクリエーションに関すること。
- (7) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (8) 所管施設の管理運営に関すること。

## <部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	81名
再任用職員	7名
任期付職員	229名
非常勤職員	41名
合計	358名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

社会が激しく変化している現代においては、市民を取り巻くさまざまな課題に対する学習機会が提供されることが必要です。社会教育部では、図書館による市民の課題解決に向けた情報提供と合わせて、基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組めます。

また、市民が多様な個性・能力を開花させ、豊かな人生を歩むためには、豊かな文化芸術にふれ、まちの歴史文化への理解を深め、健康の維持・増進を図る運動習慣を身につけることが必要です。社会教育部では、子どもたちをはじめとする市民が文化芸術に親しむ環境整備を行い、文化財等の保存、郷土の歴史への理解を深め、歴史文化遺産を活用した文化観光への活用を図るとともに、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実やスポーツ環境の整備を進め、健康スポーツを推進します。

また、留守家庭児童会室では、今後、小学校就学児童全体を対象とするために必要な施設整備を計画的に進めるとともに、職員の専門性の向上を図ります。また、多様な学習や体験活動などを充実するため、放課後児童対策の拡充や留守家庭児童会室事業の実施手法の見直しの検討を進めます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 社会教育の推進

#### 重点施策・事業 における目標

子育てや親のあり方を考える家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ機会を提供する社会教育基礎講座等を通じて、生涯学習の一助となる、人が地域で生きていくために必要な知識や技術を提供し、学習する主体の形成を図ります。事業実施にあたっては、生涯学習市民センターと図書館の複合施設を所管する指定管理者との共催事業も企画するなど、民間のノウハウも取り入れた事業展開を図ります。

平成 28 年度の 取り組み	暮らしに役立つ情報・知識を学ぶ「社会教育基礎講座」、家庭教育を支援する「思春期セミナー」「子育て応援・親学習講座」、父親の子育て参加促進のための講座等を開催します。
	平成 28 年度当初予算：292 千円

## (2) 留守家庭児童会室の施設整備

重点施策・事業 における目標	平成 29 年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行います。
平成 28 年度の 取り組み	枚方、津田南児童会室の増築を実施します。また、男女別トイレ 18 か所を整備します。さらに香里、船橋、殿山第一児童会室の建替え（老朽化対策）を実施します。
	平成 28 年度当初予算：422, 235 千円

## (3) 歴史文化遺産の保存・活用 (①特別史跡百済寺跡再整備事業)

重点施策・事業 における目標	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後 40 年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	寺域北側の整備を完了し、中心伽藍の整備に取り掛かる予定で、まず、西面回廊の整備を行います。工事が完了した区域については、順次開放していきます。また、寺域外郭の東南部分の築地塀を立体復元するための設計のほか、文化財収蔵庫の解体工事を行います。
	平成 28 年度当初予算：128, 893 千円

## (4) 歴史文化遺産の保存・活用 (②旧田中家鋳物民俗資料館耐震・改修工事)

重点施策・事業 における目標	旧田中家鋳物民俗資料館は、大阪府有形文化財の田中家住宅鋳物工場と主屋を移築復原して資料館として昭和 59 年 10 月に開館しています。市有建築物耐震化実施計画に基づき耐震診断を行った結果、鋳物工場は補強工事が必要となりました。
	来館者の安全及び文化財の保護のため、耐震補強を行うとともに、傷んだ部材の補修等の改修工事を実施します。(平成 28 年 10 月～平成 29 年 8 月予定)
平成 28 年度の 取り組み	壁の補強や、瓦の下の葺き土を除去し屋根の軽量化を図る工事を実施します。また、主屋については耐震性を有していることを確認しましたが、屋根の劣化が著しいことから、屋根の葺替等の保全工事を行います。
	平成 28 年度当初予算：67, 800 千円

## (5) スポーツ施策の推進

重点施策・事業 における目標	スポーツ・レクリエーションの普及振興並びに健康体力づくりや野外活動等の振興を総合的かつ計画的に推進するために、スポーツ基本法に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、計画に基づく各種スポーツ振興事業の展開を図ります。また、市内の大学に協力を求め、大学のスポーツ施設を本市のスポーツ振興に活用します。
平成 28 年度の 取り組み	①計画の策定にあたっては、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、スポーツ推進に関する多角的な調査審議を行います。 ②大阪国際大学枚方キャンパスにあるスポーツ施設を大学が利用されない区分において、本市のスポーツ振興事業に活用します。
	平成 28 年度当初予算:8,347 千円

## (6) 総合スポーツセンター駐車場の拡張整備

重点施策・事業 における目標	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図るため、現在の臨時駐車場用地を買い戻した上で第 2 駐車場として整備するとともに、送電線下用地を借り受け、臨時駐車場として整備します。
平成 28 年度の 取り組み	駐車場全体の整備に係る実施設計を行い、第 2 駐車場については用地の買い戻しを、臨時駐車場については整備工事を行います。
	平成 28 年度当初予算: 697,416 千円

## (7) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入

重点施策・事業 における目標	サービス向上と効率的な管理運営のため、指定管理者制度を平成 28 年 4 月から蹉跎と牧野生涯学習市民センターと図書館の複合 2 施設に導入し、その導入状況を検証して平成 30 年度の複合全 6 施設への指定管理者制度導入につなげます。
平成 28 年度の 取り組み	2 施設の導入状況について、モニタリングなどにより検証を行いながら、さらに効果的な図書館サービスの提供について検討し、平成 30 年度の 6 複合施設への導入に向けて準備を行います。
	平成 28 年度当初予算: 89,283 千円

## (8) 香里ヶ丘図書館の建替え事業

重点施策・事業 における目標	老朽化している香里ヶ丘図書館の建替えについての検討を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	香里ヶ丘図書館の建替えに向け、館の基本コンセプトや施設概要の検討、必要な什器類等を明らかにする整備基本構想を策定し、市議会や市民等への説明、意見聴取を進めていきます。

### (9) 子どもに本を届ける事業の実施

重点施策・事業 における目標	広く市民等から不要本の寄贈を図書館で受け取ります。寄贈された本は蔵書として活用する他、蔵書として適当でない本については売却し、ふるさと寄附金とあわせて基金に積み立てます。積み立てた基金の一部を毎年取り崩し、学校や保育所(園)、地域等に届ける本の購入を行い団体貸出等の手段で届けます。各施設では調べ学習や読み聞かせなどでの活用により、子どもたちの夢や希望、未来への考えなどを育みます。
平成 28 年度の 取り組み	子どもに届ける本の購入が促進できるよう、寄附金や寄贈図書の収集、その仕組みを充実させていきます。 平成 28 年度当初予算:3,500 千円

### (10) 学校図書館支援事業

重点施策・事業 における目標	読書好きの子どもたちを育て子どもたちの学習活動を支援するため、学校図書館への学校司書の派遣等を行い、学校図書館支援を行います。
平成 28 年度の 取り組み	学校図書館への学校司書の派遣を 3 中学校区から 10 校区に拡大するとともに、平成 30 年度の全 19 中学校区への派遣拡大につなげていきます。あわせて、小中学校に対して団体貸出及び配本事業の充実、学校訪問おはなし会を実施します。また、図書館コンピュータシステムの更新に合わせて、市立図書館と学校図書館のオンライン化を行うことで、学校図書館のバックアップを行います。 平成 28 年度当初予算:31,502 千円

## 3. 行政改革・業務改善

### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	平成 28 年度末までに、市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合などの方針を決定する。その中で、電気使用料等の実費相当額の負担を求めていくことについても具体化を図り、平成 29 年度中の実施をめざす。

14. 外郭団体等の経営健全化の促進 （〔公財〕枚方市文化財調査会のあり方他）	埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、市史編纂・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、（公財）枚方市文化財研究調査会のあり方について検討する。なお、（公財）枚方市体育協会については、「経営プラン」（H24～H28）に沿った運営が行われているか進捗管理を行うとともに、次期「経営プラン」策定に向け協議をすすめる。
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	留守家庭児童会室について、放課後児童対策の拡充とあわせて、NPOなどとの協働、事業委託など他市での実施手法について検討を行う。
38. 野外活動センターの最適化	「学校キャンプ支援事業」を継続実施するとともに成果を検証し、センターを効率的かつ効果的に運営するため、利用実績等を分析して、利用者ニーズに即した施設の最適化を進める。
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館第3次グランドビジョン」に基づき、分室や自動車文庫などの図書館施設について、施設配置の見直しを含めた、今後のあり方に関する方針策定に向けて、必要な検討を行う。
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の複合施設である2施設（蹉跎、牧野）に指定管理者制度を導入して、制度の運用状況の検証を行いながら、平成30年度の複合全6施設への制度導入に向けて、準備を進める。また、東部公園、市営テニスコート（藤阪東町・春日）について、指定管理者制度の導入をめざす。
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み （留守家庭児童会室営繕業務）	営繕業務については、緊急性を要することが多く、迅速な対応が必要ですが、より効率的・効果的な運営の観点から、一部業務委託に向け、委託可能な業務の整理を行う。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、管理運営体制の一元化を進める。

## （2）業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ノー残業デーの徹底	社会教育部では、職員の健康管理等の観点から、毎週水曜日のノー残業デーの徹底を図る。

## 4. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業・留守家庭児童会室建替えに国庫補助金・府補助金の活用を図ります。(5件 6540万6000円)
- ◆香里ヶ丘図書館の建替えにあたり、国の交付金の活用を前提に検討を進めます。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政、留守家庭児童の保育など、各分野の職員が日常業務を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得し、資質の向上を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、職員研修を実施するなど人材育成に努めます。

## 6. 広報・情報発信

- ◆社会教育事業において、知識・情報を必要としている市民に事業の開催に係る情報がより届くよう、さまざまな媒体を使って広報に努めます。
- ◆子どもに本を届ける事業の意義や仕組み等について、さまざまな媒体を使って広報に努めます。